

小学校 4 学年社会科「観光産業」単元の授業プラン

1. 単元名 「観光産業 -観光が途絶えないまちにするために -」 (小学校 4 年生)

2. 単元について

(1) 教材観

本単元は、「小学校学習指導要領」第 4 学年社会科の以下の目標及び内容、内容の取扱いに基づいて設定する。

〔目標〕

(1) 地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動について理解できるようにし、地域社会の一員としての自覚をもつようにする。

〔内容〕

(6) 県（都、道、府）の様子について、次のことを資料を活用したり白地図にまとめたりして調べ、県（都、道、府）の特色を考えるようにする。

ウ 県（都、道、府）内の特色ある地域の人々の生活

〔内容の取扱い〕

(7) 内容の (6) については、次のとおり取り扱うものとする。

ア ウについては、自然環境、伝統や文化などの地域の資源を保護・活用している地域を取り上げること。その際、伝統的な工業などの地場産業の盛んな地域を含めること。

本単元における県内の特色ある地域の人々の生活については、川越市を取り上げ、市の特色ある地域の産業や自然環境、伝統や文化などの資源を保護・活用の仕方を学習する。ここでは、川越市の観光名所である蔵の街・小江戸川越を単元全体で取り上げることで、川越市が観光として地域資源の保護・活用を行っている様子に気づかせたい。また、本単元では地域資源の保護・活用の仕方として、地域内で役職（公、共、商）を担っている三つの組織を挙げることで、様々な役割があることや地域として自分もその一部を担っていることに気づかせ、地域社会の一員としての自覚をもたせる。

ここでは、県の特色を考える手掛かりとして、県内の特色ある地域の人々の生活を調べる対象として挙げている。そのため、人々の生活の様子を取り上げ、地域資源の保護・活用の仕方や特色を具体的に調べ、考えさせることが大切である。

また、川越市の地域資源として「観光産業」を用いて単元を行うため、授業と授業のつながりを持たせることが、大切である。系統性のポイントは二つある。

①授業と授業の間につながりを持たせ、考えさせる。

②児童の気づき、発見を重視した授業を展開する。

以上から本単元の学習においては、「地域資源の保護・活用から地域の人々の生活の様子を捉えることができ」さらに、「地域の人々の取り組みに自分たちもできることを考えることで地域社会の一員として自覚させることができる。」などの意義がある。また、観光業の取り組みを学習することで、職業について学習するきっかけにもなり、キャリア教育に通ずるなどの意義もあると考える。

(2) 持続可能な地域を目指す「エコツーリズム」の視点

「エコツーリズム」として観光を学習するため、次の三つの学習内容を指導する。

- ・観光地のマイナス面から観光問題について考え、その改善案を考える。(課題解決)
- ・観光発展を観光客の「まなざし」の視点から考える。(観光宣伝)
- ・地域の観光業について理解し、広い視野で観光発展について考える。(地域のネットワーク)

(3) 「社会参画」力の育成

社会参画力を育成するために、次の三つの学習内容を指導する。

- ・川越が観光地として発展し続けているのは、観光業や地域住民がそれぞれの役割を果たしていること、相互に協力をしているからであるということを理解する。
- ・観光地を発展させるために、市役所や観光協会、ボランティア団体が取り組んでいることを理解する。
- ・観光地を発展させるために、市役所や観光協会、ボランティア団体、そして自分たちにもできることを、それぞれの立場から考える。

(4) 児童の実態

本学級の児童は、非常に活発で好奇心旺盛であり、学習への意欲関心が強い。社会科では、様々な考え方や見方をすることができ、発見する楽しさをもって学習を進めている。これまでの社会科の学習でも、見学や調査などの活動から感じたことや気づいたことを多くの児童が発言していた。新たな発見をすることに驚きや楽しさを感じながら、授業に取り組む姿がみられる。

以上から、児童が新たな発見をできるのは、授業展開において様々な視点から物事をみる学習を取り入れているからである。広い視野から物事を考えるという授業が、児童の新たな発見につながるということが明らかになった。

3. 単元の目標と評価規準

(1) 目標

観光を通してまちの発展を維持していくためには、課題を解決すること・観光について考えること・地域で連携を図ることによる「持続可能な観光の実現」が大切であることを理

解する。また、地域の連携では「公」「共」「商」の役割や相互関係について理解し、それぞれの立場と自分にできることを考えることで、自分も地域社会の一員であることに気づくことができるようにする。

(2) 評価規準

社会事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会事象についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> 観光について考え、地域の観光関係機関に関心をもち、地域社会の一員として観光を通した街づくり行おうとする態度をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決、観光宣伝について考えている。 地域の観光関係機関の取り組みを学び、それぞれの立場の役割について考え、発表している。 「公」「共」「商」の取り組みから、「私」として自分にできることを考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 観光についての資料や地域のインタビュー資料から必要な情報を読み取り、整理している。 	<ul style="list-style-type: none"> 観光問題や課題解決における取り組みについて知る。 地域の観光関係機関には、それぞれの役割があることを理解する。 持続可能な観光にするためには、地域の「公」「共」「商」、そして「私」の連携が重要であることを理解する。

4. 単元の指導計画

次	時	主な学習内容と活動	◎学習の手立て □評価の観点
で あ う	1	<ul style="list-style-type: none"> ○川越が観光として人気である理由を考える。「なぜ、川越観光は人気であるのだろうか。」 ・川越の観光は伝統や文化（歴史）に魅力があることを知る。 ・川越の伝統や文化（歴史）が生まれ、守られ続けてきた背景を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎川越観光の魅力は伝統・文化（歴史）であり、それをずっと守り続けてきた人がいることに気づかせる。 □川越の観光は、伝統や文化（歴史）に魅力があることを理解している。（知識・理解）
	2	<ul style="list-style-type: none"> ○観光客の目線になって、川越の観光宣伝について考える。「どのようにして、観光客は川越を知のだろうか。」 ・観光地が有名になるには、観光宣伝も必要であることを知る。 ・川越の観光宣伝について調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎観光地には観光客が行きたいと思う「まなざし」が向けられていること、「まなざし」は様々な観光宣伝によって向けられることに気づかせる。 □観光には観光地と観光客をつなぐ「観光宣伝」が重要であることを理解する。（知識・理解） □川越の観光宣伝について、資料を使って

			調べている。(技能)
さ ぐ る	3	○観光客数のグラフから、観光客が増減する要因について考える。 「なぜ、観光客は年によって増減するのだろうか。」 ・川越の観光客数のグラフから、年によって観光客の増減があることを知る。 ・観光客を増減させる背景について考える。	◎観光客は年によって増えたり、減ったりしていること、また増減に関わる出来事があることに気づかせる。 □観光客数のグラフから読み取る。(技能) □観光客を増減させる背景について考えている。(思考・判断・表現)
	4	○観光によってもたらされる正の影響について考える。 「観光客が増えることは、川越にどんな効果をもたらすだろうか。」 ・観光客が増えた理由を考え、調べる。 ・観光客が増えることによる正の影響を考える。(経済効果、知名度、地域活性化等)	◎観光によって地域には様々な恩恵がもたらされることに気づかせる。 □資料をもとに、観光客が増えた理由を考えている。(思考・判断・表現)
	5	○観光によってもたらされる負の影響について考える。 「観光客の増加は、よいことばかりだろうか。」 ・一時的な観光客の増加や国や年代による観光客の偏りに問題があることを知る。 ・観光客が増えることによる負の影響を考える。(交通渋滞、ゴミ問題等)	◎観光は正の影響だけでなく、負の影響をもたらすことに気づかせる。 □観光は良いことばかりでないことを理解する。(知識・理解) □資料をもとに、観光問題について考える。(思考・判断・表現)
ふ か め る	6	○正の影響を大きくし、負の影響を小さくして川越を観光客に定着させるために必要であることを考える。 「川越を観光客に定着させるために、どんなことに取り組めばいいのだろうか。」 ・前時までの正負の影響をまとめ、どのようにすべきか考える。 ・川越の観光には地域の様々な人たちが関わっていることを知る。	◎持続可能な観光にするために、今後どうすべきであるか、観光の方向性を考えさせる。 □持続可能な観光の実現には観光問題を解決することが重要であることを理解する。(知識・理解) □地域には、様々な観光関係者がいることに気づき、地域への関心を高める。(関心・意欲・態度)
	7	○観光における市役所の取り組みを知る。(公) ・市役所の取り組み等に関する資料を読み取り、整理する。	◎川越の観光について、市役所の取り組みを調べ、考えさせる。 □市役所の取り組みを理解している。(知識・理解)
	8	○観光における協会の取り組みを知る。(商)	◎川越の観光について、観光協会の

		<ul style="list-style-type: none"> ・観光協会の取り組み等に関する資料を読み取り、整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> 取り組みを調べ、考えさせる。 <input type="checkbox"/>観光協会の取り組みを理解している。(知識・理解)
	9	<ul style="list-style-type: none"> ○観光におけるボランティア団体の取り組みを知る。(共) ・ボランティア団体の観光ガイドの取り組み等に関する資料から読み取り、整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎川越の観光として、ボランティア団体の取り組みを調べ、考えさせる。 <input type="checkbox"/>ボランティア団体の取り組みを理解している。(知識・理解)
	10	<ul style="list-style-type: none"> ○他の地域（観光地）の取り組みから、今後の川越の観光について考える。 「金沢市の茶屋街は、なぜ観光地として定着しているのだろうか。」 ・金沢の茶屋街の取り組みについて調べる。 ・金沢市の茶屋街と川越市の蔵の街を比較し、自分たちの観光地に取り入れたい箇所を整理し、まとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎他の観光地の取り組みを参考にすることで、問題を乗り越えるために必要なことを明確にさせる。 <input type="checkbox"/>金沢の茶屋街の取り組みを調べている。(技能) <input type="checkbox"/>金沢と川越の観光を比較し、自分たちに必要なものを考えている。(思考・判断・表現)
	11	<ul style="list-style-type: none"> ○7~11時で学んだことを活かし、川越観光の定着には地域全体で何を目指していくべきか考える。 「川越を観光客に定着させるために、どんなことに取り組めばいいのだろうか。」 	<ul style="list-style-type: none"> ◎今後も川越観光を観光客に定着させていくために、地域全体で何を指すべきか考えさせる。 <input type="checkbox"/>川越観光の定着のために、地域全体が目指す方向を考えている。(思考・判断・表現)
いかす	12	<ul style="list-style-type: none"> ○前時で考えた案を踏まえ、市役所・観光協会・ボランティア団体の立場に分かれ、何ができるか・何をすべきか検討する。 ・児童は公・共・商の三つの立場に分かれ、各グループで検討を行う。 ・インタビュー資料等から、課題やその対策方法について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎7~11時の学習と前時でまとめた川越観光が目指す方向を踏まえて、「公」「共」「商」の立場から、できること・すべきことを考えさせる。 <input type="checkbox"/>「公」「共」「商」それぞれが何をすれば、持続可能な観光を実現できるかを考えている。(思考・判断・表現)
	13	<ul style="list-style-type: none"> ○前時で考えた案をグループごとに発表し、全体で検討する。 ・自分の立場では何ができるか・何をすべきか考えた案をグループごとに発表する。 ・発表後、全体で検討を行い、川越観光の定着させるための案をまとめあげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎「公」「共」「商」のそれぞれの立場からの意見を発表し、全体の検討へとつなげる。 <input type="checkbox"/>グループでまとめた意見をもとに発表している。(思考・判断・表現) <input type="checkbox"/>発表をもとに、それぞれの意見を検討しながらまとめている。(思考・判断・表現)
	14	<ul style="list-style-type: none"> ○最終的な案について見解をまとめる。また地 	<ul style="list-style-type: none"> ◎持続可能な観光にするためには、地域の

	<p>域の取り組みを踏まえて、自分たちにできることを考える。</p> <p>・観光が続いていくには、地域の連携とそれぞれの立場が役割を果たすことが重要であることに気づく。</p>	<p>「公」「共」「商」「私」がそれぞれの役割を果たし、連携していくことが必要であると気づかせる。</p> <p>□持続可能な観光には、地域の連携と立場ごとの役割が重要であることを理解する。(知識・理解)</p>
--	---	--

5. 本時の学習 (2/14 時間目)

(1) 本時の目標

- ・観光のきっかけは、人が観光地に目を向ける（行きたいと思う）ことであり、この観光客の視点が大切であることを理解する。(知識・理解)
- ・観光宣伝は観光地と観光客を結ぶ大切な役割を果たしていることを理解し、川越の観光宣伝について調べ、考えることができる。(思考・判断・表現) (技能)

(2) 準備

- ・各国のガイドブック ・川越の観光宣伝資料 (ガイドマップ、大学生作成のマップ、広告記事、ホームページや SNS の一部写真等) ・パソコン ・紹介カード ・ワークシート

(3) 展開

過程 (時 配)	学習内容 教師の指導	児童の活動 予想される発言	◎学習の手立て □評価 ・指導上の留意点
導 入 10 分	<p>○前時までの振り返りを行う。 「なぜ、観光客は川越にやってくるのだろうか。」</p> <p>○日本のあらゆる観光地のガイドブックを配布し、自分が行きたいところを選び、発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統や文化のある街なみをみたいから。 ・歴史ある建物をみるため。 ・日本らしい景色をみるため。 ・僕は大阪に行きたい。理由はディズニーランドみたいなテーマパーク (USJ) が楽しそうだから。 ・私は広島に行きたい。海の中に鳥居があるのがす 	<p>◎前時での学習を振り返り、川越の観光について再確認させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人が観光地に目を向けることがどのようなことか、体験を通して気づかせる。 ・各国のガイドブックから行きたいところを選び、選んだ理由を発表させる。

	○本時の学習課題を確認する。	ごく、みてみたいから。	◎学習課題を確認し、本時の活動の流れを把握させる。
	どのようにして、人は行きたい観光地を選んでいるのだろうか？		
展開 30分	<p>○川越の観光がどのようにして人に伝わるのか、考える。 「なぜ、観光客は川越の観光を知っているのだろうか。」</p> <p>○ガイドブックは観光地の「観光宣伝」であることを知る。 「実は、川越の観光宣伝はパンフレットだけではないのです、他に何かあると思いますか？」</p> <p>○各班に分かれ、川越の観光宣伝を調べる。(ガイドマップ、大学生作成マップ、テレビ番組、電車の広告、ホームページや SNS 等)</p> <p>○紹介カードをもとに、班ごとに川越の観光宣伝を紹介する。</p> <p>○クラス全体でそれぞれの観光宣伝は、誰に向けられたものであるか考える。 「(例) 電車の広告は、特に誰が目にしそうですか？」</p>	<p>・さっきのようなガイドブックをみて、行きたいと思ってくるのかな。</p> <p>・テレビ</p> <p>・ホームページ</p> <p>・会社に行くお父さん</p> <p>・高校に電車で通う兄</p>	<p>・導入のときの発問を再度し、川越の観光地がどのように人に伝わっているかに注目させる。</p> <p>・観光宣伝について説明する。</p> <p>・観光宣伝の方法を予想させる。</p> <p>・班ごとに宣伝方法を調べ、話し合いながら紹介カードに記入させる。</p> <p>□班で協力しながら、紹介する宣伝方法を調べている。(技能)</p> <p>◎観光宣伝は様々な方法でされていることに気づかせる。</p> <p>◎様々な観光宣伝は、多くの人に伝わるように行われていることに気づかせる。</p> <p>・クラス全体で各観光宣伝の対象を考えさせる。</p>

ま と め 5 分	<p>○本時の学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光地に観光客が集まるには、観光宣伝が大切であること。 ・川越の観光宣伝は様々な人に向けた方法で行っていること。 		<p>◎本時での「観光地を知ってもらうための観光宣伝」について調べてきたことをまとめさせる。</p> <p>□本時での学習が正しく記入されているか。(思考・判断・表現)(知識・理解)</p>